

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和七年四月度 入賞句一覧

投句数 三百十 句

特選

名和 よちゑ 選

新学書き間違える年と組

加茂郡川辺町 嶺川 千晶（中三）

四月に入り、いよいよ新学期がスタートしました。新しい先生、新しい友達に期待と不安がいつぱいです。そんな中、三月まで一年間ずつと書き続けてきた学年とクラスをついとうっかり書き間違えてしまったのですね。他の皆さんにもきつと覚えがあるのではないのでしょうか。新鮮な緊張感が云わってきました。

雪女たまにはこたつどうですか

大垣市 田中 綾乃（小六）

雪女は、雪国で旅人を道に迷わせたり、誘惑したりするという伝説的な妖怪です。人が作り上げた幻想ですが、白い着物を着て、髪は長く、真つ白な顔を想像してしまいます。そんな怖いイメージを持つ雪女に同情して、「たまにはこたつどうですか」と言う作者のユーモアが楽しい句となりました。

柚子風呂の柚子かき集め王様に

大垣市 佐竹 葵衣（小六）

冬至の日、お風呂に柚子を入れて入浴すると無病息災と風邪を防ぐ効果があると言われています。湯舟びはたくさんの柚子が浮かんでいて、色もあざやかで香りもよく、お肌もツルツルとして、まるで王様のような気分です。ポカポカと暖かい句になりましたね。

秀逸

鳥の巢にたまごがあつて落ちそうだ

大垣市 高橋 茉央（小六）

空の下どうと咲く桜の花

大垣市 毛利 香歩（小六）

ピザマンだチーズがとろり春満月

大垣市 兒玉 琉花（小六）

さくらにはゆめがいっぱいつまってる

大垣市 柳瀬 紅葉（小二）

さくらの木見ながらからあげおちそうだ

大垣市 くるみざわ ゆう（小二）

入選

桜だいいも色光るとびはねて

大垣市

松井 應佑（小六）

目立ちたい言わんばかりのオリオン座

大垣市

毛利 香歩（小六）

新年の希望あふれる日の光

大垣市

前田 朱莉（小六）

外見たら桜の雲ができていた

大垣市

尾坂 隆基（小六）

耳澄ませ小鳥の会話春麗

加茂郡川辺町

村山 心菜（中三）

先輩の背中見守る卒業式

加茂郡川辺町

高井 菜々美（中三）

風が舞い梅の香りにくすぐられ

加茂郡川辺町

河合 優菜（中三）

春風に乗って立ちこぎ鼻歌と

加茂郡川辺町

土屋 龍弥（中三）

夏せまる部活の大会はじまるぞ

加茂郡川辺町

磯部 叶多（中三）

春の空あかるいさくらきれいだな

大垣市

こうだに よしなり（小三）

選者吟

ふろしきは正義の味方昭和の日

よちゑ



小中学生の部